

毎年、1月に入ると、「いよいよ…」と、落ち着いた幼児クラスの子どもたちです。「鬼って本当にいるのかな？」と虚構と現実を行きつ戻りつしながら、「あの怖い鬼」と戦う名東保育園の節分。

## 名東保育園の鬼は、なぜ怖い？

一人では怖いけれど、皆で知恵を出し合い、様々な作戦をたてていきます。当日は、怖さを乗り越え、真剣に鬼に向かっていきます。

簡単にリセットできるゲームの世界が身近にある今の時代だからこそ、そんな体験を大事にしたいと思います。

今年は、「コロナ」という見えないウイルスにおびえながら1年余りも緊張感が続いています。そこへ、鬼までも…！鬼を退散させ、安心できる春が訪れますように…。

### くじら組 強力「紙豆」作戦！ 園庭での作戦練習！

今年の作戦は、コロナウイルスを入れないことと同様に、「園の中に鬼を入れない」と作戦を立て、大きくて丈夫な豆で立ち向かいます。

あたると痛い強力な「紙豆」を作り、早速、投げ方の練習が始まりました。どうやったら強く、鬼に命中するか？と考えて色々な投げ方を考案。

園庭での作戦では、それぞれの場所につき、皆で声を出し協力して追い払うまでのシミュレーションをやってみました。

「架空」の鬼を追い払い、ひと足早く鬼退治をした気分。(笑)



まだまだ、本番はこれから・・・。  
たのんだよ！ くじらさん！

# 園だより No. 10 2021. 1. 29 (金) 発行

## 保育目標

人間として生きる力を養い  
心身ともに健やかな子どもに育てる

名東保育園  
〒465-0081  
名古屋市名東区高間町 135  
Tel (052) 701-2622  
Fax (052) 701-2676  
HP <https://meito-hoikuen.jp/>



鬼の頭にお豆をバーンって投げたら、鬼がアイタター！って、逃げるんじゃない？

## いるか組 作戦会議

怖がる子や鬼と戦う気満々の子と様々な反応の3歳児。幼児になって初めての節分。くじら組さんの雄姿を見て、一緒に鬼を追い払えるかな？

目にもあたるかも！



(ぺんぎん組)



## 節分を楽しむ 乳児クラス



(かに組)



(らっこ組)



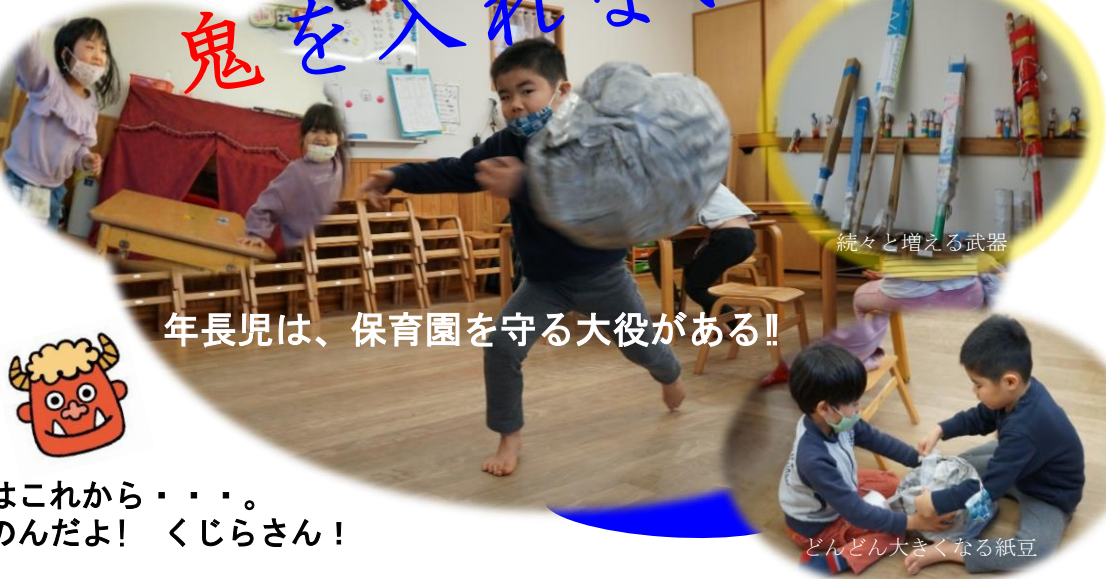
(ぺんぎん組)

「おまめ、ぼ〜い！」  
「お〜にだぞ！」と、1, 2歳児は、新聞豆を投げ、鬼が退散するあそびやお面を作って楽しんでます。  
さて、当日は…？！

ちょっと、待ってね。

テープ、ちょうだい。

絶対に！  
鬼を入れないぞ！！



年長児は、保育園を守る大役がある！！

続々と増える武器

どんどん大きくなる紙豆



## しろくま組 鬼退治準備

くじら組の作戦を聞き、くじら組と一緒に外で鬼と戦うことを決意。

「しろくま組になるとさすが！強いね〜。」と話すとき、「もう、しろくまだもん！」と頼もしい言葉が返ってきました。新聞紙を丸める手にも気合い十分！当日まで、コツコツと新聞豆作りや武器?を作っています。がんばれ〜！

「こどもまつり」に向けて  
～くじら組～

感染対策をとりながら、くじら組のみの開催となった『こどもまつり』。早速、担任と子どもたちとで劇作りが始まりました。

飛沫を意識すると、大きな声が出せない、歌が歌えない、全員がマスク着用での劇作りは、なかなかの苦戦?!と思いきや…セリフに頼らないからこそ、身体表現が磨かれる。表現することで、イメージする力、伝わる心地よさ、相手との「間」や呼吸を感じながら皆で劇を創っていく楽しさがあります。

身体で表現することを  
楽しんで!



(追いかける場面)

新しいことを創るワクワク感とドキドキ感を大切に。子どもたちの発想を基に表現し、楽しめる保育園最後の「こどもまつり」を迎えたいと思います。



(川の水が流れる様子)



感染予防についてのお願い

- \* 保育時間に変更がある場合は、早めにご連絡を! 申請時間に応じた勤務体制となっています。
- \* PCR検査(抗原検査)を受ける時、受けた場合や濃厚接触者となった場合は、速やかにご連絡ください。(かに組)
- \* 園内の「密」を避け、感染を避ける為、お休みいただいても構いません。
- \* 感染者が出ましたら、名古屋市と保健センターの指示により休園になることもあります。保育中にお迎えの連絡をさせていただく場合もあります。緊急メールの確認と速やかな対応をお願い致します。



園庭作りもあと少し!

1月10日から始まった工事。斜面の整備もすすみ、子どもたちが塗ったタイヤも埋め込まれます。

次は、木にかかるツリーハウスの建設。出来上がるまでの様子を見ながら完成を期待できるように…。

ご家庭でも話題にしてみてくださいね。



40周年を迎えた名東保育園

40周年目の新人3人にインタビュー!

～職員の声～

- ① どんな保育園にしたいか?
- ② どんな保育士になりたいか?

林美穂子

- ① 子どもが自然や地域の人と触れ合い、子どもの笑顔がたえない保育園。また、保護者の方が安心して預けることができ、共に子どもの成長を喜ぶことができる保育園にしていきたいです。
- ② 子どもに寄り添い、子どもの思いを大切にする保育士になりたいです。また、保護者の方と一緒に子どもの成長を喜んでいきたいです。



岸桂奈

- ① 子どもも職員も「今日も楽しかったな」と家に帰って行けるような保育園にしたいです。
- ② 居心地のいい先生、どこにいても子どもたちから名前を呼んでもらえる保育士になりたいです。



平澤かみの

- ① 子どもも父母の方も職員もみんなの笑顔であふれる保育園にしたいです。
- ② 一人ひとりの思いや考えなど子どもの視点に立って考え、また、子どもと同じように全力であそぶ子どもらしさを大切にした保育士になりたいです。



静かに食べる習慣作り

感染予防として、食事中の会話の声ができるだけ小さくなるように、園長の提案で、静かなBGMをかけながら食べることを進めています。

BGMが聞こえるぐらいの声で会話を楽しみながら、落ち着いて食事できるようになってきました。箸の持ち方や食器の持ち方など食事の時の姿勢やマナーについても変化し、給食、おやつ時間を楽しく過ごしています。



(いるか組)



〈2月の予定〉

- 2日(火) 節分
- 5日(金) 誕生会
- 8日(月) 避難訓練
- 27日(土) こどもまつり(くじら組)

\* 感染状況により、開催できない場合もあります。ご理解の上、引き続き感染対策を意識していただきますようお願いいたします。

〈改姓のお知らせ〉

栄養士 竹本明美が入籍し  
長屋明美に改姓しました。



【編集後記】

一体いつまでこの状況が続くのか?と思わず、前向きに! 子どもたちの元気な声と笑顔が、そう思わせてくれます。

新しい園庭もできる! 子どもたちの成長も楽しみ! 暖かい春が来れば、心も晴れやかになるはずだ! (牧)